

## 神戸市シルバーカレッジ 講義概要(シラバス)

コース 専 攻	国際交流・協力コース	対象学年	1年
講義日	令和 8年 4月 24日(金)		
テーマ	韓国社会と文化の理解		
講 師	神戸女学院大学・非常勤講師 金 泰賢(キム テヒョン)		
講義内容			
<p>第1部 韓国社会の全般について</p> <p>韓国は、1950～60年代には世界でもっとも貧しい国の一つでしたが、最近では世界 10位前後の経済規模(GDP 基準)を持つ国にまで成長しました。ところがこのような経済の高度成長の裏には激しい競争や貧富の格差など様々な社会問題を残してきました。この授業では韓国社会全般の変化の過程や現状、問題点などについて幅広く紹介します。</p> <p>第2部 韓国の食文化について</p> <p>大型スーパーに置いてある色々な種類のキムチや韓国のお酒、外国の加工食品を扱っている店に必ずおいてある韓国のインスタントラーメンやレトルトのサムゲタン(参鶏湯)、テレビのショッピングにたびたび登場する韓国風調味料、韓国の食べ物だけを扱う専門のスーパーなど、韓国発の「食」はすでに身近な存在となっています。一度食べたことのある、もしくは、聞いたり見たことのある韓国の「食」について紹介します。</p>			
講師からのメッセージ			
韓国からやってきた友人から韓国のことを聞くような雰囲気での授業ができればうれしいです。よろしくお願いします。			

## 神戸市シルバーカレッジ 講義概要(シラバス)

コース 専 攻	国際交流・協力 コース	対象学年	1年
講義日	令和 8 年 4 月 16 日(木)		
テーマ	文化人類学と異文化理解—オセアニアを中心として		
講 師	吉岡政徳		
<p>講義内容</p> <p>講義は以下の内容で進めます。</p> <p><b>1 進化主義と文化相対主義</b></p> <p>進化主義を否定した文化相対主義の出現が、異文化の解釈を目指す文化人類学の出発点となりました。オーストラリア先住民の例を取り上げ、進化主義の間違いを指摘します。</p> <p><b>2 野生の思考</b></p> <p>文化人類学者のレヴィ=ストロースは、すべての人類に普遍的に見られる思考である「野生の思考」は「科学的思考」とは異なると主張しました。どう異なるのかを考えます。</p> <p><b>3 豚を殺す儀礼（ヴァヌアツ共和国）</b></p> <p>オセアニアのヴァヌアツ共和国では、豚を殺す儀礼というものがありますが、この背後に横たわる「野生の思考」を考え、日本人にも同じ思考が見いだせることを指摘します。</p> <p><b>4 エイジング</b></p> <p>ヴァヌアツにおいては「齢をとる」ということを、日本とは違った風に考えています。科学的思考に基づいた「近代の論理」とは違った視点によるものですが、それが何かを考えます。</p> <p><b>5 SD と SDGs</b></p> <p>ヴァヌアツはかつて、国連の位置づけでは最貧国でした。貧困を解決するためにSD(持続可能な開発)が実施されてきました。ところが、国連のなかでSDからSDGsへの変換が起こりました。それはどういう点か、また、今日のSDGsが持つ問題点を考えます。</p> <p><b>6 地球温暖化と海面上昇（ツバルの現実）</b></p> <p>SDGsの一つに気候変動への取り組みがあります。温暖化による海面上昇に苦しむオセアニアのツバルを例に、問題点を考えます。</p>			
<p>講師からのメッセージ</p> <p>質問があったら、私の話を中断してもかまいませんので、その場で手を挙げてください。質問への回答を先にしてから、話を続けます。</p>			